

* : *

1 ポートエッセイ - 地方再生は各地の港湾から -

～日本港湾振興団体連合会会長～

* : *

アベノミクスの変調がささやかれている今、いよいよ「地方創生」が最大の課題として浮上してきた。港湾を核に地域の活性化に取り組んできた我々にとって最大の好機である。「地方の元気は港湾から」を最大限実現していきたい。

これまでの地域活性化はグローバル企業を元気にし、その活性化効果がしたり落ちるように地方に波及していく、いわゆるトリクルダウン効果が有効とされてきた。しかし、現在はその手法は通用しない。以前のようにグローバルとローカルはつながっていない。

グローバル企業はその分野で大いに頑張ってもらいながら、ローカルで活躍する企業を地域それぞれでしっかりと支援・育成していくことが欠かせない。農業戦略特区に指定を受けた新潟市は、6次産業化を徹底的に進め、付加価値を田園地帯が取り、農村部に雇用も生まれる方向を追求していく。同時に主食用米のだぶつきを防ぐため、輸出用米の実績を伸ばし、港湾の活性化にもつなげる方針だ。地元の農機具メーカーが中心となり、精米工場を香港、シンガポール、モンゴルに展開していることが大きな効果を挙げ、新潟県・新潟市の輸出米は近年倍増している。

これまで地方の小都市では、いかに働く場を創り出すかが最大の課題だったが、いまや子育てや看護、介護などのライフインフラ分野で働く人がいなくなっている。ある程度の人口を持つ都市が地域の核となり、持続可能な地域を創っていく必要がある。港湾活性化に尽力してきた我々の知恵と力で地方創生を推進していこう。

* : *

2 トピック

* : *

- **みなと講演会（紋別）を開催しました。**
～紋別港を活用した地域活性化を考える～
(みなとオアシス「もんべつ」運営協議会)

10月25日（土）に紋別港を活用した地域活性化をテーマとした「みなと講演会」を紋別市で開催いたしました。

はじめに、「みなとまちの賑わい」と題し、紋別港のポテンシャルについて触れつつ、全国のみなとオアシスの事例紹介などについて、国土交通省港湾局 高田昌行産業港湾課長にご講演をいただきました。その後のパネルディスカッション（登壇者（写真左から）：NPO法人マリネットワーく 遠藤仁彦理事、北海道開発局港湾空港部 中島靖計画課長、紋別市 宮川良一市長、紋別漁業協同組合 渡辺玲子女性部長、一般社団法人紋別観光協会 出塚容啓会長、みなとオアシス「もんべつ」協議会 竹内珠己代表、オホーツク・ガリンコタワー（株）加藤公之常務取締役）では、「紋別港を活用した地域活性化を考える」をテーマに紋別の魅力向上に向けた意見交換が行われました。最後に特別講演として武部新衆議院議員より、オホーツクから「北海道を新に！」と題し、外国人観光客の有効性についてなどご講演をいただきました。

今回の講演会では約250名の参加者があり、民間主導で街に賑わいをもたらすことの意義や観光振興で地域活性化を目指す契機になるものとなりました。



パネルディスカッションと会場の様子



高田産業港湾課長の講演



武部衆議院議員の特別講演

● みなとまちづくりマイスター認定記念シンポジウムの開催

(山形県県土整備部空港港湾課)

10月8日(水)に酒田市において、山形県初の「みなとまちづくりマイスター」に西村修氏が認定されたことを記念して、「景観まちづくりシンポジウム」(主催:NPO法人酒田みなとまちづくり市民会議)が開催されました。西村氏は、酒田港と市街地を繋ぐ回遊観光ルートの整備や地元酒田の食材を使った料理の企画・販売、みなとオアシスマつりの実行委員など、地域住民との交流や観光の振興に長年取り組んでいます。



西村氏の挨拶、菊地身智雄国土交通省大臣官房技術参事官をはじめとする来賓挨拶の後、みなとまちづくりマイスター 西村氏各地のみなとまちづくりに携わっている4名のパネリスト(下記)により、みなとまちづくりや景観をテーマにパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、西村氏から江戸時代に北前航路として栄えた酒田港を代表する北前船を復活させ、観光振興に役立てるとともに酒田港の歴史を後世に伝えたいとの意見がありました。他のパネリストの皆様方からも、みなとの景観向上やみなとの新たな魅力の発見に繋がる「みなと風景総選挙」などの取組の紹介があり、酒田港においても大変参考になりました。

また、本シンポジウムの後、西村氏のみなとまちづくりマイスター認定を記念して祝賀会が行われました。今後、山形県初のみなとまちづくりマイスターである西村氏とともに、より活気ある酒田港の実現に向け取り組んできたいと思えます。

(パネリスト)

酒田まちづくり開発株式会社代表取締役	みなとまちづくりマイスター	西村	しゅう	氏
NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部代表	みなとまちづくりマイスター	小島	富美子	氏
公益財団法人酒田青年会議所理事長		楯引	柳一	氏
一般社団法人ウォーターフロント協会専務理事		橋間	元徳	氏



シンポジウムの様子



北前船「みちのく丸」

● 石巻港「港湾感謝祭」に参加しました

(東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所 企画調整課)

第13回「港湾感謝祭」が10月18日と19日の2日間にわたり、宮城県石巻市の仙台塩釜港石巻港区大手埠頭で開催されました。港湾感謝祭実行委員会が主催し、H14年から始まり、震災でH23、24年と一時中断もH25年から復活しました。

今回は世界最大級の帆船「海王丸」が寄港し、18日はセイルドリル、19日は一般公開(乗船見学)がおこなわれ、「海王丸」の優雅な姿を一目見ようと、約1万5千人が訪れました。

当事務所でも地域の皆さんに「みなと」の役割を知ってもらおうと19日にPRブースを出展しました。



世界最大級の帆船「海王丸」



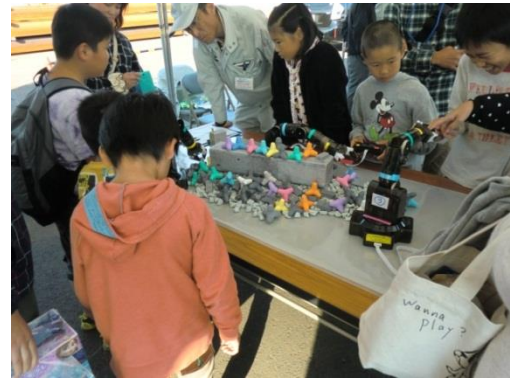
賑わう事務所ブース

PRブースでは「造波模型による波起こし体験」や「ロボットアームによる消波ブロック積み体験」等をおこない、子供達を中心に大盛況でした。

これらの体験を通じて子供達は、防波堤の”ある”港と”ない”港の違いを体感したり、防波堤の構造や効果を学んでいました。



力いっぱい波をおこす子供



操作が難しいロボットアーム

ブースを訪れた人達からは「防波堤の役割を改めて気づかされた」「大人も子供も興味を持って港湾への理解に繋がると感じた」などの感想がありました。

今回のイベントを通して、地域のみなさんの暮らしを支えている「みなと」の役割や防波堤事業について、理解して頂くきっかけになればと思っています。

● 「ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦2014」の実施について
(関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所)

9月28日(日)、茨城県ひたちなか市の阿字ヶ浦海岸において「ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦2014」が開催されました。

本イベントは、ビーチの楽しみ方を地域住民の方に広く知っていただくため、平成17年より毎年行われているもので、今年で10回目となります。

当日は、過ごしやすい秋空のもと、梶山衆議院議員、本間ひたちなか市長らが参加される中、「子ども運動会」や各種ステージイベントが行われ、約3000人の地域住民の方が集まり、昨年を超える盛況ぶりでした。

当所でも「みなと見学会」を実施し、茨城港出張所内でのレクチャー及び、陸上から臨港地区内をバスで巡る体験をしていただき、茨城港常陸那珂港区の役割と事業の効果について理解を深めていただきました。



梶山衆議院議員の挨拶



みなと見学会

● **みなとオアシスがまごおり SEA SIDE JAZZ FESTIVAL」が今年も盛大に開催！**
(蒲郡市 企画部 企画広報課)

9月21日(日)に、愛知県蒲郡(がまごおり)市のみなとオアシスがまごおりにおいて、「SEA SIDE JAZZ FESTIVAL 2014」が開催されました。

このジャズフェスティバルは今年で10回目を迎え、みなとオアシスがまごおりが平成19年4月に中部地方整備局からみなとオアシスとして認定される以前から開催しており、蒲郡市制施行60周年記念と重なるメモリアルイベントとなりました。

みなとオアシスがまごおりは、JR名古屋駅から蒲郡駅まで約40分、蒲郡駅から徒歩5分という、全国でも稀なほどみなとと駅が近く、アクセスが非常に良いみなとオアシスであります。

イベント当日は、午後3時から開演し、8時30分頃に無事終了。その間来場された約400人の方々は、プロとしても大活躍中の今岡友美 with DearBluesを筆頭に、市内外のプロ・アマ含む4バンドの美しくも楽しい演奏にあわせて、みなとオアシスがまごおりにある、バリアフリーポンツーン「まんぼう」に停泊したヨットたちが、素敵なジャズ演奏に共鳴するようにスウィングする姿、みなと特有の心地よい潮風の薫り、昨年の「第三回全国ご当地うどんサミット2013」に出店し、見事優勝を飾って以降、破竹の勢いで快進撃を続けている、蒲郡名産のあさりを使った新しいがまごおりグルメの顔「ガマゴリうどん」や、新グルメ「クラムチャウダー」に舌鼓を打つなど、潮風とジャズが共鳴する素敵な大人の時間を過ごされていました。

みなととジャズがシンクロするこのような素晴らしいイベントが、今後も継続的に開催され、いつも人々が集い、にぎわいあふれるみなとオアシスがまごおりになっていくことが期待されています。

SEA SIDE JAZZ FESTIVAL 2014 GAMAGORI
 海を眺めるトクベツなJAZZ

2014.9.21 (sun)
 Open:15:00 Start:16:00

会場: みなとオアシスがまごおり 竹島ふ頭特設会場
 小樽開催(英天海:蒲郡市民会館ホール) ライブ

今岡友美 with DearBlues
 Mitsui武井 & Sounder trio/RIVERSIDE
 STOMPERS/TheAlbireo Jazz Orchestra

観覧券 ¥2,000
 前席 ¥2,500

公共交通機関
 JR東海蒲郡駅・名鉄蒲郡駅、蒲郡駅南口より徒歩5分
 蒲郡駅南口より徒歩5分
 蒲郡駅南口より徒歩5分
 蒲郡駅南口より徒歩5分

自家用車
 蒲郡駅南口より徒歩5分
 蒲郡駅南口より徒歩5分

主催: みなとオアシスSEA SIDE JAZZ実行委員会 後援: 蒲郡市/みなとオアシスがまごおり運営協議会
 協力: 愛知県蒲郡市 BLUE WAVE JAZZ FORUM 企画・運営: 特定非営利活動法人 藍波ネット
 問い合わせ: 蒲郡市企画広報課 0533-66-1162



みなとオアシスがまごおり SEA SIDE JAZZ フェスティバル 2014 の様子

